

財政調整基金を活用して国保税の引き下げを！

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目 59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

奥州市議会9月定例会は、8月30日開会し、9月27日まで開かれます。日本共産党奥州市議団は、3日から始まった一般質問に登壇しました。今号では、千葉敦議員の質問を紹介します。



千葉敦議員

奥州市の国民健康保険税は、

令和3年4月1日に今の保険税額となっています。改定の際の説明では、令和5年度末の国保事業財政調整基金の残高約5億円になるように、新型コロナウイルス感染症による経済低迷の影響で所得減を見込み税率を引き上げました。

実際の令和5年度末の基金残高はおよそ15億4千万円であり、改定時の目途より10億円も多い額となっています。千葉敦議員は、次期国保税の改定に際しては、10億円も多い基金を活用して、引き下げを検討すべきと質しました。

引き下げは難しい

倉成市長は「県内の国保税納付金ベースの統一に向け調整が行われている中で、市の納付金の増額が予定されている。国

保税収入も減少する見込みであり、今後も収支不足の拡大が予想されるので、基金を活用しての税率引き下げは難しい」と述べました。

一部負担金の減免制度の創設を

国民健康保険は、地域から国民皆保険制度を支えている重要な医療保険です。しかし加入者は、低賃金の非正規労働者、年金暮らしの高齢者、無職など低所得者が多く占めています。国保加入者が病气やけがをして医療機関で受診すると、窓口で医療費の3割など一部負担金を支払わなければなりません。

ところが、失業や廃業、疾病など働けなくなり生活困窮に陥ったときには、その一部負担金を払えず、病气やけがの重症化につながります。千葉敦議員は、このようなときに、医療機関の窓口で支

倉敷民商弾圧事件報告集会開催

9月7日午後2時から水沢地区センターで、「倉敷民商弾圧事件・報告集会」が開かれ、東北各地、県内各地から82人が参加しました。

倉敷民商弾圧事件 報告

主催：日本国民救援会胆江支部
後援：倉敷民商弾圧事件の被害者



報告する禰屋町子さん

主催は日本国民救援会胆江支部(千田美津子支部長)、胆江民主商工会(千葉敦会長)でした。千田美津子支部長が主催者を代表してあいさつし、当事者の禰屋町子(ねやまちこ)さんが報告を行いました。

倉敷民商弾圧事件とは、平成26年、倉敷民商事務局の禰屋さんなどを法人税法違反(脱税ほう助)及び税理士法違反で逮捕・起訴したものです。

禰屋さんの裁判は岡山地裁で平成29年3月3日に「懲役2年執行猶予4年」の不当判決が出され、広島高裁岡山支部で平成30年1月に「破棄、差し戻し」の判決が出されました。

差し戻し審は令和5年7月から公判が始まっています。その中で明らかになったのは、検察・警察が無実の禰屋さんを逮捕・起訴し、脱税事件をでっち上げた、自主計算・自主申告を行う民主団体へのとんでもない弾圧事件です。

禰屋さんは「拘留が異例の428日もあり、不当な裁判に対してがんばれたのは、拘留所の外から聞こえる励ましのコールや33万筆を越える全国からの署名活動などのおかげです」と述べ、「日本の司法制度の問題点を訴えていく」と決意を語りました。

渋滞緩和対策を早急に

江刺工業団地は、現在、フレンドパークⅡが造成中であり、完成したのちに全ての事業所・工場の操業で、1400人もの雇用が増えるといわれています。現状でも、朝夕は工業団地

内、アクセス道路での渋滞が起っています。千葉敦議員は、早急に改善が必要な渋滞緩和対策の今後の進め方について、質しました。

周辺既存道路改良も検討

倉成市長は「今年度において、新たなアクセスルートや周辺の既存の国道、県道等を活用したルートの改良及び部分的な改修などのハード面を検討していく」と述べました。

